

IV-11 東京大都市圏における通勤・通学に関する研究

日本大学 正 田口 三郎
日本大学大学院 学 玉石 修介

1. はじめに

東京大都市圏の人口は年々増加の一途をたどり、落ち着く傾向もまだみられない。このような人口集中は都市圏の拡大・外延化を招くものであり、ハブ・ドーナツ化現象や外周部におけるスプロールをも促進するものである。また、このような外延化は通勤・通学などの所要時間を増加させるものである。しかし、この所用時間はいくら長くとも良いと言えるものではなく、一般的には一往復に要する時間は3〜4時間程度が上限と言われている。このことから考えるならば、東京大都市圏の拡大と外延化は現在までと同様の推移が将来においてまで持続するとは考えがたい。また、就業・就学の場を常驻地以外のゾーンに依存することも圏域の拡大の一因と考えられる。

本研究においては、東京大都市圏における、就業・就学の機会を常驻地以外のゾーンに依存する割合であるとか、逆にそのゾーンに対して他のゾーンより依存される割合などを知る事ができる円々率に関し分析しようとするものである。

2. 対象地域

研究に当たっての対象地域は東京大都市圏の内の一般的に言われる東京50km圏とし、昭和43年に行なわれたパーソントリップのゾーニングを参考に市町町村の再編成を行ない34ゾーンに集約したものをを用いる。fig-1にゾーン区分図を表わし、その各ゾーンの主要市区町村名をもtable-1に示すものである。

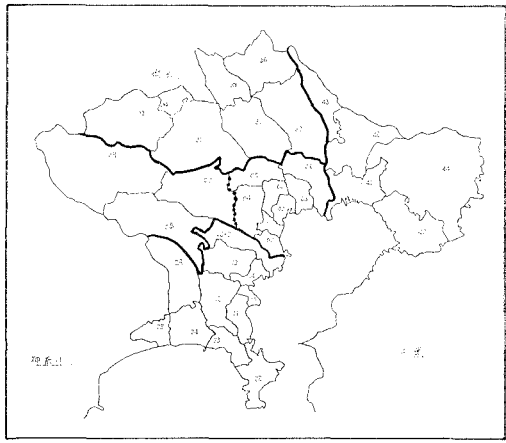


fig-1 ゾーン区分図

3. 資料集計

調査資料は昭和35年以降5年ごとに昭和50年までの国勢調査より、市区町村別に常驻地における従業地別調査

ZONE No.	主要市区町村名	ZONE No.	主要市区町村名	ZONE No.	主要市区町村名	ZONE No.	主要市区町村名
00	千代田区	08	八王子市	23	鎌倉市	35	上尾市
01	目黒区	09	青梅市	24	藤沢市	36	久喜市
02	新宿区	10	横浜市中区	25	平塚市	40	千葉市
03	台東区	11	〃 南区	29	相模原市	41	市川市
01'	大田区	12	〃 戸塚区	30	浦和市	42	松戸市
04	世田谷区	13	〃 港北区	31	川越市	43	野田市
05	練馬区	14	〃 鶴見区	32	春日部市	44	成田市
06	足立区	20+21	川崎市	33	飯能市		
07	立川市	22	横須賀市	34	坂戸市		

table-1 ゾーン市区町村名

報告を用いた。これより、ゾーン別に各市区町村をまとめクロス集計を行ない、その値と各ゾーンの常住地における通勤・通学者総計で割り百分率を求めた。これを時系列を追って比較できるようにしたものでもtable-2である。

4. 考察

内々率の変化には多くの要因があると思われるが、特に大きな要因と考えられるものを次の数項目に示す。

- ①全体的な内々率の変化の傾向として年次を追うごとに低下している。

これは周辺部のベッドタウン化が影響しているものと考えられ、他のゾーンへの就業・就学の依存度が高くなった事を示している。また、大量輸送交通機関（特に鉄道）の中心部への高速化、および自動車等の普及が影響を与えていると考えられる。

- ②中心部ゾーンおよび中核的なゾーンでは第3次産業の人口の伸びが近年顕著なものになっており、その周辺ゾーンの内々率の低下に影響していると考えられる。

- ③周辺部における35年代、40年代の内々率の大幅な減少は第1次産業の人口の急激な減少が大きく影響していると考えられる。

- ④各ゾーンごとに内々率の変動を時系列で見ると、大幅に減少していくゾーンと比較的小幅な変化のゾーンとに分類することができる。これはそれぞれのゾーンの産業構造に影響されていると思われる。変化の少ないゾーンは④中心・中核となる地域（商業・公務系の集中地域）④工業系の集中地域⑤第1次産業の活発な周辺地域などが考えられるが、変化が少なくとも内々率の低い地域はこれらには当てはまらない。また、変化の大きいゾーンはベッドタウン化が著しく進んだにめと考えられる。

ナイタイ リツ (%)				
ZONE NO.	35年	40年	45年	50年
00	87.35	83.50	82.35	79.95
01	57.87	51.26	52.55	48.73
02	60.40	59.57	59.48	58.95
03	80.40	76.96	73.11	68.79
01'	62.16	60.48	60.38	57.99
04	54.46	43.74	42.84	42.04
05	54.46	53.76	52.79	50.20
06	65.12	62.74	62.00	59.53
07	56.47	54.08	54.34	53.00
08	72.78	62.14	57.78	54.59
09	77.55	67.88	66.66	63.25
10	67.14	66.40	65.39	61.31
11	50.84	48.99	48.03	42.56
12	45.03	43.17	42.94	40.03
13	42.58	40.76	41.17	38.02
14	59.70	56.47	55.97	50.64
20+21	70.85	65.51	64.46	44.67
22	78.43	74.70	74.26	71.11
23	45.73	43.94	41.94	39.01
24	61.37	57.40	57.94	57.00
25	70.42	71.33	70.56	68.94
29	64.14	65.36	61.52	57.52
30	65.94	63.55	62.61	60.35
31	72.51	63.52	58.93	55.15
32	78.31	67.74	60.67	55.67
33	79.81	74.68	68.86	63.51
34	73.57	68.21	62.23	49.26
35	72.14	65.74	55.58	52.86
36	74.15	64.77	59.99	51.86
40	69.44	72.75	67.81	63.76
41	58.18	52.72	49.81	46.38
42	61.99	51.92	51.76	47.75
43	78.30	69.16	65.60	56.15
44	83.51	76.71	67.74	60.66

table-2 ゾーン別内々率 (%)